

インボイス制度実施延期を求める意見書提出  
を求める請願

紹介議員 宇田 貴子



# インボイス制度実施延期を求める意見書提出を求める請願

2023年6月2日

## 【請願趣旨】

インボイス制度が実施されれば、消費税の免税事業者への新たな税負担や過酷な実務負担が押し付けられます。すでに、「インボイス登録しないと回答したら3月で契約が打ち切られた」事例が出ています。小規模事業者の取引排除が広がれば、地域経済はますます疲弊することになります。

影響を受けるのは小規模事業者やフリーランスだけではありません。太陽光パネルを設置して売電している家庭や敷地に飲み物などの自動販売機を設置している家庭にもインボイス発行事業者登録に関する働き掛けが行われています。

国会ではインボイス制度が実施されることで電気代が値上がりすることも明らかにされました。シルバー人材センターへの発注単価を引き上げるように政府は自治体に求めています。こうした対応は住民の負担増にもつながりかねません。

政府は161万の事業者がインボイス制度の対象になり、2480億円の増収になると試算しているように、インボイス制度は税率変更を伴わない消費税の増税策です。

いまインボイス制度が始まれば、コロナ禍や物価高から事業の維持・再建を図ろうとしている中小事業者やフリーランスに大きな足かせとなることは火を見るより明らかです。

以上の趣旨により、地方自治法第99条の規定により、関係政府機関に意見書提出を求める請願を行います。

## 【請願項目】

- 1、「インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に提出して下さい。

請願者

日立民主商工会

〒316-0036 茨城県日立市鮎川町6丁目18-7 TEL0294-37-2160

代表者 武田 聡

ひたちなか市議会議長 大谷 隆 様